

A Brief Guide to Better Writing for Automotive Engineers

[自動車技術会論文集へ論文投稿する場合の注意事項]

自動車技術会
論文集編集委員会

自動車技術会では自動車技術会論文集 (Transactions of Society of Automotive Engineers of Japan) という日本の自動車技術を代表する論文集を年6回 (1, 3, 5, 7, 9, 11月) 発行しております。

ここでは、この論文集に投稿を予定している皆さんに、論文集の審査を担当する立場から論文審査の実態をお知らせし、論文投稿者が質の高い論文を効果的に執筆するための手助けを行いたいと考えています。

1. 論文審査の概要

投稿された論文の掲載の可否は、論文集編集委員会で選定した第一および第二校閲者2名の校閲結果をもとに論文集編集委員会で審議して決定します。上記2名の校閲者の判断が異なる場合や編集委員会での審議により更に校閲が必要となった場合には第三校閲者に校閲を依頼し、計3名の校閲者の報告をもとに編集委員会で審議して論文集への掲載の可否を決定いたします。

この間に校閲者や編集委員会から著者に内容照会を行うことが一般的です。この場合の筆者からの回答や論文修正の意思等は個々の校閲者に送られ、A校閲者への回答がB、C校閲者の審査過程に反映することは一般的にはありません。校閲者からの校閲報告をもとに編集委員会で審議し、掲載可となった論文については、先の校閲委員への回答に沿った論文修正や編集委員会の審議過程で必要と認められた修正をお願いすることになります。

第三校閲を行う場合には校閲に時間がかかり投稿者にご不便をおかけする場合がありますが、編集委員会としては学術的または技術的水準の高い論文を読者に提供する責務があり、審査時間の短縮にも限界があります。

2. 投稿規程と執筆要綱

現在適用されている投稿規定と執筆要綱は2002年11月に改定されたものです。本文は自動車技術会のホームページ (URL: <http://www.jsae.or.jp/>) に掲載されておりますので、論文投稿の際には必ずお読み願います。

3. 原著と著作権

論文は他 (英文誌も含む) に公表されていない**原著(original paper)**でなければならず、原著の定義は投稿規定に記載されています。また自動車技術会論文集に掲載された論文には著作権が発生いたします。この詳細についてもホームページに掲載されております。

4. 論文の不備

論文の審査はその自動車技術としての独創性、信頼性、完成度、有用性を基準に掲載の可否を判断いたしますが、論文としての記述が不備のために著者の意図が校閲者に十分伝わらず、評価が下がる場合があります。またこの不備の個所が多数あり、その修正が困難と編集委員会で判断した場合には推敲不十分として掲載否としています。不備として指摘されることが多い項目は以下

の通りです。

- (1) 日本語タイトルと英文タイトルのミスマッチ。
- (2) 不完全な英文アブストラクト。
- (3) 不完全な図、表。(縦軸、横軸の絶対値・単位などの表記不足、不適切な英文表題)
- (4) 不鮮明な図。(カラー印刷が必要な図の使用、**論文集はモノクロ印刷**)
- (5) 本文の推敲不足。(テニヲハを含めた完成度、用語の未定義、供試材等の明示不足)
- (6) 従来研究の探索不足。(独創性などの論文の位置付けが不明確、参考文献の不足)
- (7) 学術的な記述が不明瞭。(工学的または工業的有用性などが校閲者に理解できない場合がある。また、商品名などの固有名詞を表記。**学術論文集は商品名などの表記は不可**)
- (8) 実験結果と考察の記述が不十分(最大6ページの紙面を有効に使っていない。講演前刷のままの原稿にこのケースが多い。)
- (9) 二重投稿の疑い(他の学術誌への掲載された論文と内容や主要結論が類似している)

5. 校閲者はボランティア

自動車技術会では、会員の相互扶助により論文集の質を維持しているため、校閲者には薄謝を差し上げておりますが、数日間の校閲作業に見合う校閲料は支払っておりません。すなわち**校閲者はボランティア活動として論文の校閲を行っております。**

論文の校閲にあたって、文章の微々細々にわたる校正を行うことを、編集委員会は校閲者に要求しておりません。すなわち前項で掲げたような論文の不備については未完成原稿または推敲不十分な原稿としての判断を校閲者からいただくことになります。

6. ミスタイプ

投稿された論文は基本的に著者の意図にしたがって正しく記述されていることを前提に校閲をします。したがって、数式のミスタイプ等については『ミスタイプ』と善意に解釈する場合だけでなく『**明白な理論展開の誤り**』と解釈される場合もあります。図表についても同様ですので、内容の吟味、図番の間違い等にはくれぐれもご注意願います。

7. 論文執筆の薦め

自動車技術会・論文集編集委員会では、投稿していただいた質の高い研究論文および技術論文を論文集に掲載し、自動車技術の向上の一助にするため、200名ほどの校閲者を動員して論文集の出版活動を行っています。最近論文集への投稿論文数は増加の傾向にあり、この状態が今後も持続されることを期待しております。なお本文のタイトルが英文になっておりますが、**英文の論文投稿も歓迎しておりますので、ぜひ投稿願います。**